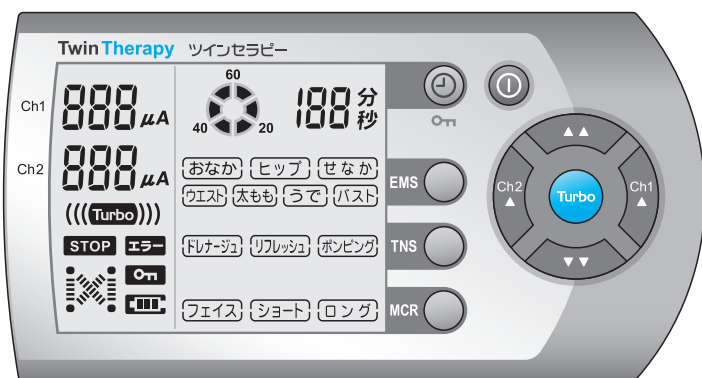


Twin Therapy

ツインセラピー

取扱説明書



このたびは「ツインセラピー」を
お買い求めいただき、ありがとうございました。

いつでもお読みいただけるよう、本体と取扱説明書を
一緒に大切に保管してください。

使用する前に必ず本取扱説明書をよく読み、
正しくお使いください。

目次

ツインセラピーの特長	3
安全上のご注意	6
使用上のご注意	7
保守・点検のご注意	14
はじめてお使いになる前に	
本体標準付属品と仕様	16
本体各部名称	17
画面構成と用語説明	18
充電について	20
粘着パッドのセットと貼り付け	22
粘着パッド使用時のポイント	24
ツインセラピーの使い方 各モード共通	26
EMSモードの使い方	28
TNSモードの使い方	32
MCRモードの使い方	36
その他の使い方	42

ツインセラピーの特長

1. 目的に応じた3つのモードを搭載

ツインセラピーの機能	① 筋肉トレーニングに EMS (イーエムエス) モード	おなか、ヒップ、せなか、ウエスト、太もも、うで、バスト
	② リラックスに TNS (テンス) モード	ドレナーージュ、リフレッシュ、ポンピング
	③ 運動後のクールダウンに スキンケアに MCR (マイクロカレント) モード	フェイス、ショート、ロング

① 筋肉トレーニングに … EMSモード

EMSモード(電氣的筋肉刺激/Electrical Muscle Stimulation)は、電気で筋肉を刺激することにより、筋肉中でエネルギーを消費して高い運動効果を得ることができます。

またEMSモードには、使用する部位に合わせた2種類の電流刺激(干渉波とロシアカレント)が搭載されています。いずれも中周波を用いることで電流特有のビリビリとした刺激感を少なくし、より深い筋肉まで鍛えることができます。

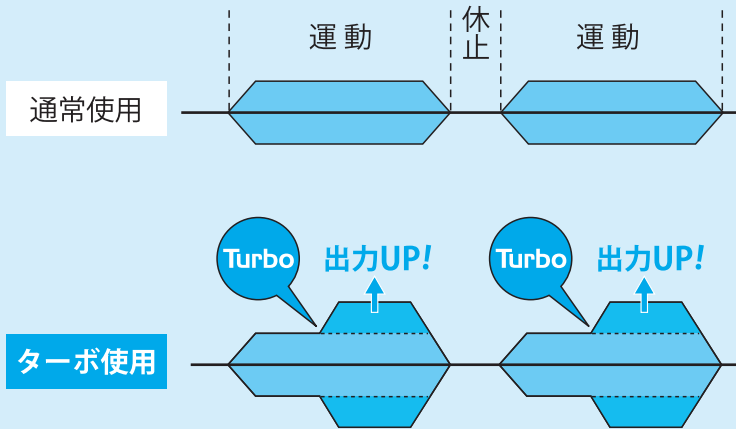
おなか・ヒップ・せなか・ウエスト・太もも・うで・バスト の7つのプログラムを用意しています。使用する部位に適したトレーニングが可能です。

ツインセラピーの特長

EMSモードにターボ機能搭載

EMS運動法による筋肉トレーニングは、出力を高くして使用するほど効果が出やすくなります。今回採用されたターボ機能は、「もう少し出力を上げて頑張ってみよう」という気持ちをより簡単に実現するために搭載いたしました。EMS運動中の出力を自動的に約10%UPさせることで、筋肉が少しずつ強い負荷に慣れるようになり、より一層のトレーニング効果が期待できます。

従来のEMSトレーニングに加えて…



※EMS波形イメージ

約10%の出力UP!!

より一層のトレーニング効果が期待できます！

② リラックスに … TNSモード

TNSモードは、断続中周波を使用し、運動後の体全体を心地良くリラックスさせることができます。

- ドレナージュ**…………… リズムを変えながら使用部位を心地良く刺激します。
足や腰回りなど、下半身が気になる方、
夕方になると足が重いという方におすすめです。
- リフレッシュ**…………… 手指で押されているような心地良さが体感できます。
肩、腰、足などの重くなりがちな部位におすすめです。
- ポンピング**…………… 手指で軽くもまれていたような心地よさが体感できます。
グューっと力を集中させて、パツと離す体感が特徴的です。

③ スキンケア、運動後のクールダウンに … MCRモード

MCRモードは、マイクロカレント（微弱電流）を使用しています。この微弱電流は、お肌の気になる部分のお手入れや、運動後の筋肉や関節のトリートメントにおすすめです。

- フェイス**…………… 専用マイクロローラーでお肌をコロコロマッサージ。
くつろぎながら本格的なフェイシャルケアを楽しめます。
- ショート**…………… 運動の後の筋肉や関節におすすめです。
- ロング**…………… 運動後の体のクールダウンにおすすめです。

※MCRモードは微弱な電流を使用するため、体感(刺激)はほとんどありません。

2. 使いやすい快適設計

親切設計で 操作もカンタン

モードを選んで出力を上げるだけ。どなたでも簡単にお使いいただけます。

持ち運びできる コンパクトサイズ

専用充電地で使用できる、コンパクトな設計なのでどこへでも携帯でき、外出先や仕事・家事をしながら使用も可能です。ウォーキングなど体を動かしながら使用する際は、別売の専用ポーチもございます。

(お買い求めの販売店または当社にお問い合わせください)

※電気刺激により、意思とは関係ない動きをする場合があります。車の運転中や火気、熱湯、高温状態にある器具を扱う炊事中等の際は、危険ですので絶対に使用しないでください。

※専用ポーチに入れて使用する際は、必ずロック機能をかけてください。→P43

安全上のご注意 正しく安全にお使いいただくために

- 取扱説明書は本器を安全にお使いいただくために必要です。本器を人に貸したり、差し上げる時には点検を受けたうえで、必ずこの取扱説明書を一緒にお渡しください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」と7ページから15ページまでの注意事項をよく読み、正しくお使いください。
- あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。危害や損害の程度を表していますので、内容を理解してから本文をお読みください。



危険

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示します。



警告

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示します。

表示例



は、本器の取扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するための絵表示です。
※表示例は「感電注意」です。



は、本器の取扱いにおいて、その行為を禁止する絵表示です。
※表示例は「分解禁止」です。



は、本器の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する絵表示です。
※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。



愛情点検

修理点検の確認をお願いする絵表示です。

この取扱説明書のイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

使用上のご注意

ご使用前に必ずご確認ください



危険

下記のような医用電気機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがありますので使用しないでください。

- ペースメーカー等の体内植込型医用電気機器
- 人工心肺等の生命維持用医用電気機器
- 心電計等の装着型医用電気機器



警告






次のような人及び部位は必ず医師とご相談の上、使用してください。

- 急性(疼痛性)疾患の人
- 悪性腫瘍のある人
- 心臓に障害のある人
- 妊産婦(産前産後を含む)
- 生理時の腹部
- 熱の高い人(38℃以上)
- 伝染性疾患の人
- アトピー性皮膚炎の人
- 日焼けなどで皮膚に炎症を起こしている部位
- 皮膚が化膿し、炎症を起こしている部位
- アレルギー体質で、特にお肌が敏感な人
- カユミやホテリのあるシミや病的なシミのある人
- ステロイド系ホルモン剤の長期使用や肝臓機能障害で、毛細血管拡張を起こしている人
- てんかん症状のある人
- 多発性硬化症の人
- 体内に金属やプラスチックの入っている部位
- 適用部位の皮膚に損傷・炎症、その他の異常のある人
- 適用部位に知覚障害のある人
- その他医師の治療を受けている人や体に異常を感じている人
- 過去に筋腫の手術または治療を受けたことがある人
- 紫斑病など内出血しやすい人
- 骨粗鬆症など簡単に骨折する人
- 医師から運動を禁じられている人
- 狭心症の人
- 医師から心臓に注意等の指示がある人




使用上のご注意

1) 使用場所や状況について

 **警告** 発火、感電、火傷などの事故や物的損害、故障の原因となります。

-  ①風呂場、台所、車の中、火気の近く、直射日光の当たる場所など、温度や湿度の高い場所やほこりの多い場所で使用したり、保管しないでください。機器の寿命を縮めたり、暑さによる本体変形など故障の原因となります。
-  ②本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に使用しないでください。本体内部で結露現象が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤動作や故障の原因となります。使用する時は移動後2時間以上経過してから電源を入れてください。
-  ③本体が、特に低い温度や高い温度の時は液晶画面の表示が薄かったり欠けたりすることがありますが、故障ではありません。通常の室温状態(10℃～40℃)になると正常に動作します。なお、極度に高い温度(60℃以上)の状況で使用した場合、表示画面が損傷するなど故障する場合がありますので取扱いに注意してください。
-  ④トイレ等の水場での使用は、落下や水没などのおそれが生じ、事故や故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
-  ⑤保護者、医師、又は専門家の監督下以外では子供に使用させないでください。また、子供が機器本体及び導子で遊んだり、上に乗ったりしないようにしてください。

2) 準備について **危険**

-  ①他の機器との併用は、危険を起こす恐れがあるので、行なわないでください。
-  ②濡れた手で操作すると、感電する可能性があり非常に危険です。絶対におやめください。
-  ③乳幼児には使用させないでください。

**警告**

使用を開始するにあたり、禁忌事項及び以下のことに注意してください。

- ① 次の人は介護者の監視のもとでご使用ください。
 - マヒのある人
 - 寝たきりの人
 - 12才以下の子供
 - 認知症の人や意思表示ができない人
 - 適用部位に浮腫がある人
 - 適用部位に阻血組織がある人
 - 自分で操作できない人
- ② マイクロローラーは金属を使用していますので、金属アレルギーの方は、使用しないでください。
- ③ 口中・陰部などには、使用しないでください。けがなどの原因となります。
- ④ 頸動脈(咽喉の前後)、頭部、心臓の前後に挟んで使用しないでください。
- ⑤ 正常な判断ができない状態(お酒を飲んだ人、睡眠薬を飲んだ人)で使用しないでください。
- ⑥ 本来の目的以外には、絶対使用しないでください。故障や事故の原因となります。また、ペットには使用しないでください。
- ⑦ 粘着パッドは金属製の物(ネックレス、ベルト、時計など)と重なったり、触れたりしないように貼ってください。また、粘着パッドが互いに重ならないように貼ってください。急激な刺激がかかることがあります。
- ⑧ 車の運転中は危険ですので絶対に使用しないでください。
- ⑨ 使用前にスイッチ等を操作し、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。
- ⑩ 定められた手順で操作してください。操作を誤ると事故や故障の原因となります。
- ⑪ 全ての接続コードは容易に離脱しないように正しく確実に接続してください。発火やショートなどの原因となります。
- ⑫ 高周波を利用した家電製品(テレビ、電子レンジ、ラジカセなど)を使用している場合は、3メートル以上離れてご使用ください。近くで使用すると誤作動の原因となることがあります。



使用上のご注意


- ❗ ⑬使用にあたって体調の優れないときは、使用を控えてください。
- ❗ ⑭身体に疲労感を強く感じている時又は筋肉痛が特にひどい場合は、しばらく使用を控えてください。
- 🚫 ⑮火気、熱湯、高温状態にある器具を扱う炊事中などの際は、危険ですので絶対に使用しないでください。
- ❗ ⑯しばらく使用しなかった本器を再使用するときは、使用前に必ず本器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、6ヶ月以上使用しなかった場合は、使用前にお求めの販売店で点検を受けてください。スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。

3) 電源(充電ACアダプタ)・配線について

⚠️ 警告 発火、感電、火傷などの事故や物的損害、故障の原因となります。











- 🚫 ①充電ACアダプタは交流100V以外では使用しないでください。規格の異なる海外での使用は、発火、ショート・感電など事故の原因となります。
- 🚫 ②コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。タコ足配線などで定格を超えると、発熱により火災の原因となります。
- ❗ ③充電ACアダプタは、コンセントへ確実に差し込んでください。また、充電ACアダプタが破損したり、差し込みがゆるい場合は使用しないでください。差し込みが不完全な場合、感電・ショート・発火の原因となります。
- 🚫 ④接続コードのプラグにゴミやほこりなどを付着させたまま使用しないでください。発火・ショートの原因となります。
- 🚫 ⑤充電ACアダプタの本体差込プラグ(金属部分)を、手で触らないでください。汚れによる接触不良により事故や故障の原因となります。
- ❗ ⑥充電ACアダプタ使用後は、本体差し込み口の保護キャップを必ず閉じてください。ホコリやゴミの付着により、接触不良による事故や故障の原因となります。
- 🚫 ⑦指定の充電ACアダプタ、充電電池以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。

4) 充電電池について







- ❗ ①必ず指定の充電電池をお使いください。
 - 品番: ITO-330 仕様: ニッケル水素充電電池 (3.6V)
 - お買い求めは販売店または当社にお問い合わせください。
- ②充電について
 - 充電電池は消耗品です。長時間充電してもすぐに充電電池の容量がなくなるときは、新しい充電電池と交換してください。本体の使用状況(頻度や時間等)により大きく変化しますが、およそ150～250回が目安です。
 - 充電電池の寿命を保つため、充電電池の残量が無くなってから充電することをおすすめします。
 - 満充電になる前に途中で充電を止めると、充電電池の寿命が短くなる可能性があります。(※充電しながら使用できません)。
 - 充電電池は使わないで放置していても自己放電します。このため、新しい充電電池でもはじめから容量が少なくなっていたり、まったくないことがあります。これは、充電電池の不良ではありません。
 - 充電のしすぎによって故障することはありません。
 - 充電は周囲温度0℃～40℃以内で行ってください。
 - 湿気やほこり、振動の多いところでは充電しないでください。
- ❗ ③充電電池の取扱いについて
 - 充電電池のビニールカバーをはがしたり、キズをつけないでください。充電電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。
 - 本器を長期間使用しない場合は、充電電池を本体から外して保管してください。
- ④ご使用後はリサイクルへ 
 - 本製品の充電電池はニッケル水素充電電池を使用しています。
 - ニッケル水素充電電池はリサイクル可能な資源です。不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
 - 不要になった充電電池を一般のゴミとして捨てないでください。
 - 環境への影響を少なくするため、お住いの地域で定められている規則に従いリサイクルしてください。

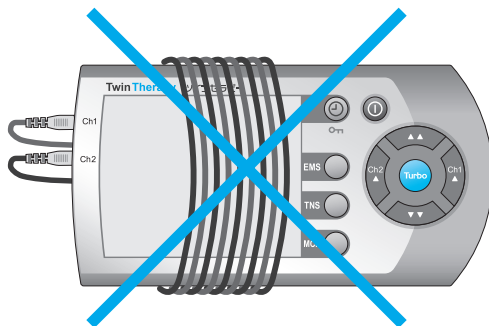
使用上のご注意


5) 使用中のご注意

-  ①本器を使用した際に、身体に異常を感じたり、発疹・発赤・かゆみ等が現れた時は、直ちに使用を中止してください。異常が継続する場合は、医師に相談してください。
-  ②使用開始当初は、出力は弱めに、また、時間を短めに設定してください。また、刺激感覚は個人差があり、かつ部位によっても感じ方に差があります。急に出力を上げすぎないように、1～2週間かけて身体を慣らしながら出力を上げてください。
-  ③刺激に対し体が慣れてからも、使用開始直後から強く（目標値）しないで、5分から10分経過ごとに少しずつ出力を上げ、目標値に近づけてください。
-  ④出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。感電・発火の原因となります。
-  ⑤充電ACアダプタを使用している場合、雷や地震・停電になった際には使用を中止し、電源スイッチを切り充電ACアダプタをコンセントから抜いてください。使用再開時に事故や故障の原因になります。
-  ⑥本体を水につけたり、濡らしたりしないでください。内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。（トイレ等の水場では、絶対に使用しないでください）
-  ⑦EMSモード（おなか、ヒップ、せなか、ウエスト、太もも、うで、バスト）で、ウォームアップからトレーニングに切り替わる時に、人によっては、非常に強い刺激を感じる場合があります。
-  ⑧お子様や認知症の方が、粘着パッド等の付属品を口に入れたり、他の用途に使わないよう十分に注意してください。事故や故障の原因になります。
-  ⑨本器使用中に本体が熱くなることがありますが、これは比較的大きな電流を使用するためであり、本体の異常ではありません。
-  ⑩目的にあった時間・量を超えないように注意してください。また、使用する体の部位、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。取扱説明書をよく読み、不明な点はお求めの販売店に相談してください。

6) 使用後のご注意












-  ①使用後は、電源スイッチを切り接続コードを出力口から抜いてください。接続コード類の取外しに際しては、必ずプラグ部を持って引き抜いてください。
-  ②本体、付属品などは、次回の使用に支障のないように清潔にし、湿気の少ない所に整理、保管してください。
-  ③接続コードや粘着パッドは、無理に折り曲げたり、丸めたりしないでください。
-  ④使用後、ウェットティッシュなどで粘着パッド装着部の皮膚を清拭してください。
-  ⑤使用後、体調に異常が感じられた場合は、しばらく使用を控えてください。
-  ⑥接続コード類を本体に巻き付けた状態で放置しないでください。接続コードの接触不良や故障の原因となります。



-  ⑦機器を衛生的に保つための清掃、予防点検及び保守に関しては、「保管とお手入れについて」を参照してください。

保守・点検のご注意

1) 保管とお手入れについて 警告

-  ①温度、湿度の高い所、ほこりの多い所での保管はしないでください。劣化を早め、故障・事故の原因となります。
-  ②長期間ご使用にならない時は、必ず充電ACアダプタをコンセントから抜いてください。
-  ③お手入れは、電源スイッチを切り充電ACアダプタをコンセントから抜いてから行ってください。
-  ④濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。感電などの事故の原因となります。
-  ⑤本体の清掃は、変色の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。水かぬるま湯又は中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭いてください。
-  ⑥お子様の手の届かない所に保管してください。落としてけがや破損の原因となります。
-  ⑦本体は絶対に開けないでください。故障の原因になります。
-  ⑧粘着パッド、接続コード類は消耗品です。より安全にお使いいただくために、接続コード類は使用状態により異なりますが、遅くとも3年以内には交換してください。長年使用すると、接続コードの断線などで火傷・火災などの事故の原因となることもあります。粘着パッドは粘着力が弱まりましたら交換してください。
-  ⑨接続コード類に亀裂などの不具合が生じている時はすぐ使用を中止してください。危険ですから、お買い求めの販売店または当社までご連絡の上、新しいものをお求めください。
-  ⑩充電ACアダプタなどの接続コード類を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、挟みこんだり、加工したりすると接続コードが破損し、火災・感電・事故の原因となります。
-  ⑪他の機器の部品や付属品などを流用しないでください。規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。



- ❗ ⑫粘着パッドには袋にパッドの使用期限を表示してあります。使用期限内に使い切るようにしてください。また、使用期限を過ぎたものは使用しないでください。

※使用期限は粘着パッドの表面下段のバーコードの側に表記されています。



例:  20XX-△△ → 使用期限は 20XX 年の△△月

- ❗ ⑬粘着パッドを貼った部分が赤くなったり、かゆみを引き起こした場合は、使用を中止して、お買い求めの販売店または当社へお問い合わせください。敏感肌用の粘着パッドもご用意しております。

2) 故障時及び取扱いに際しての注意事項

-  ①本体や付属品を勝手に修理したり改造しないでください。故障かなと思ったら使用を中止し、お買い求めの販売店または当社へお問合せください。
-  ②本体を高い所から落としたり、強い衝撃を与えないでください。誤って落とした場合は必ず点検を受けてください。液晶の文字が欠ける場合があります。また、その時に異常がなくても内部の損傷が進み、後に事故や故障の原因になることがあります。

3) その他

-  ❗ 機器及び付属品を廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。
-  ❗ 3年以上使用した付属品（接続コード、充電ACアダプタ、ニッケル水素充電電池）による事故については、当社は責任を負いかねる場合もありますので、予めご理解をお願いします。



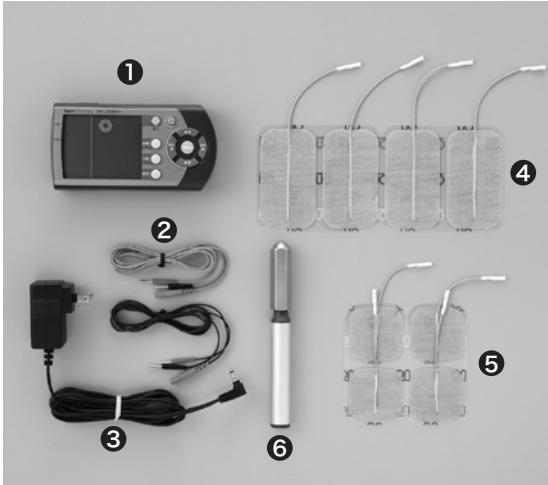
定期点検を受けましょう! 本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的(1年をめやす)に点検を受けましょう。特に付属品類は消耗品ですので、年に1回は点検を受け、3年以内に早めに交換してください。点検・交換についてはお買い求めの販売店または当社へお問合せください。

はじめてお使いになる前に

本体標準付属品と仕様

ご使用になる前に、本体および標準付属品がすべて揃っているか、ご確認ください。

本体・標準付属品



- ① 本体
 - ② 接続コード〈1.15m・黒〉1本
接続コード〈1.15m・灰〉1本
 - ③ 充電ACアダプタ 1個
 - ④ 粘着パッド〈L・Aタイプ〉 1袋
 - ⑤ 粘着パッド〈M・Aタイプ〉 1袋
 - ⑥ マイクロローラー 1本
- *専用ニッケル水素充電電池 (単三型3本型)
*工場出荷時本体にセット済み
*取扱説明書
*サポートガイド
*簡単スタートガイド

※付属品等に不足があった場合、お買い求めの販売店または当社までご連絡ください。

※粘着パッドは消耗品です。粘着力が低下しましたら交換してください。

粘着パッドのご注文は、お買い求めの販売店または当社にご連絡ください。

●粘着パッドの取扱説明書文中およびサポートガイドでの表記について

本文およびサポートガイドでは、「粘着パッド」、「粘着パッド〈M〉」、「粘着パッド〈L〉」と記述しています。

仕 様

定格入力電圧…… DC5.5V (付属の充電ACアダプタ〈入力AC100V〉)

DC3.6V (専用ニッケル水素充電電池)

定格消費電力…… 9.9 W (最大出力時)

搬送周波数…… 出力1:2500Hz固定、出力2:2500～2560Hz

出力周波数…… 2～100Hz (EMS,TNSモード)、0.2～400Hz (MCRモード)

出力レベル…… 1～80レベル (EMS,TNSモード)、5～500 μ A (MCRモード)

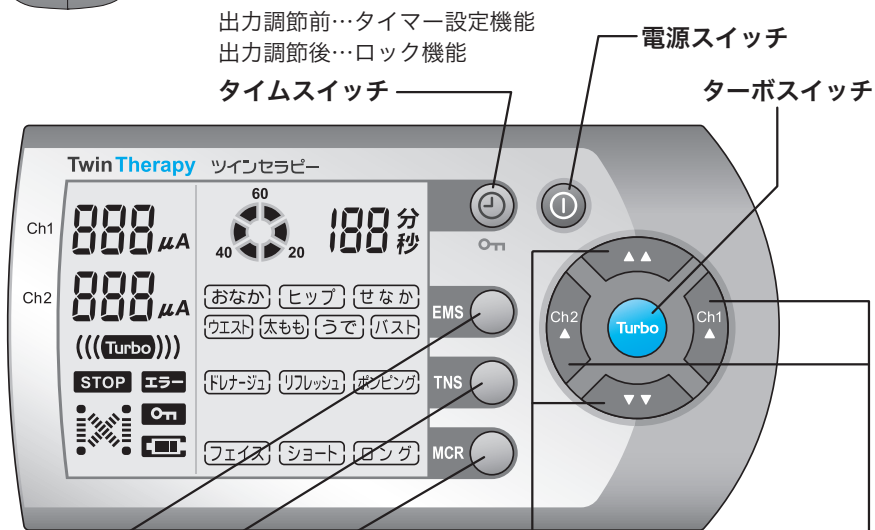
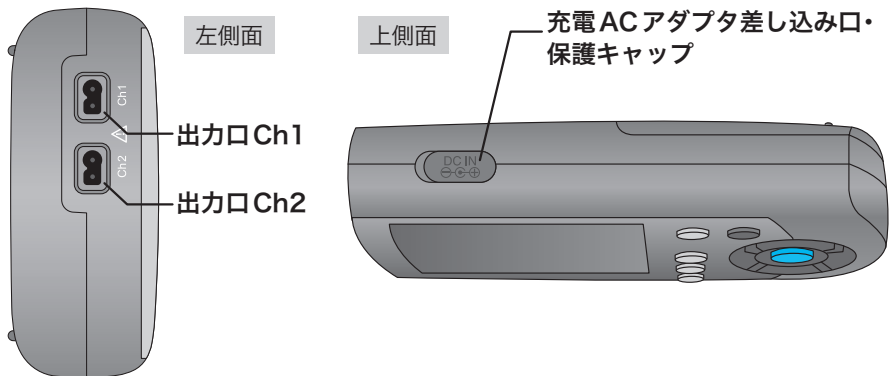
タイマー…… EMSモード・MCRモード (フェイス・ショート):20,40,60分

TNSモード:10,20,30分、MCRモード (ロング):60,120,180分

本体サイズ…… 横143×縦75×厚さ30 (mm)

重量…… 約290g (電池含む)

本体各部名称



モードスイッチ

EMS TNS MCR
EMS、TNS、MCRからモードを選択後、部位またはプログラムを選びます。

- ※出力中に使用中の各モードスイッチを1.5秒長押しすると、「STOP機能」がはたらき、一時停止ができます。
- ※出力調節スイッチのアップキーのいずれかを押し、再スタートします。

出力調節スイッチ

▲▲：ダブルアップキー
▼▼：ダブルダウンキー
Ch1・Ch2の2つの出力を同時に変更できます。

Ch2▲・Ch1▲：
シングルアップキー
出力を個々に変更できます。

はじめてお使いになる前に

画面構成と用語説明

出力表示 Ch1 ————
出力調節スイッチ Ch1 に対応し
設定値を表示します。

出力表示 Ch2 ————
出力調節スイッチ Ch2 に対応し
設定値を表示します。

ターボ表示 ————
ターボ機能を使用中に表示されます。

STOP 表示 ————
STOP 機能を使用中に表示されます。
P42「STOP 機能」参照

干渉表示 ————
選択したモードの EMS がどの
ように流れるかをアイコンで
表示します。

充電電池表示 ————
充電電池の残量を表示します。

ロック表示 ————
出力中にタイムスイッチを押すと、
全てのスイッチがロックされ、
ロック表示が点灯します。
P43「ロック機能」参照

エラー表示 ————
接続コードが抜けていたり、
粘着パッドがはずれていたりすると、
エラー表示し出力を停止します。
※エラー機能は MCR モードには
ありません。

おなか、ヒップ、せなか
に適した流れ方

ウエスト、太もも、うで、
バストに適した流れ方

※干渉表示にあわせて粘着パッド
を貼ってください。
※貼り付け位置の目安は『サポート
ガイド』をご参照ください。



タイマー表示

アナログ表示とデジタル表示で「あと何分？」を楽しく確認できます。

EMSモード

- 「おなか」「ヒップ」「せなか」「ウエスト」「太もも」「うで」「バスト」の7つのプログラムから選択。
- 電氣的刺激を使用し、筋肉のトレーニングに効果的です。

TNSモード

- 「ドレナージュ」「リフレッシュ」「ポンピング」の3つのプログラムから選択。
- 断続中周波を使用し、心地良くリラックスできます。

MCRモード

- 「フェイス」「ショート」「ロング」の3つのプログラムから選択。
- マイクロカレントを使用し、お肌のお手入れや、運動後の筋肉や関節のトリートメントに効果的です。

※液晶画面の表示が、低温時には薄くなったり、高温時には濃く、もしくは青くなったりする場合がありますが、故障ではありません。

はじめてお使いになる前に

はじめてお使いになる時は、
充電をしてからお使いください。

充電について

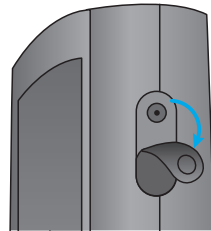
ここで使うもの：本体・充電ACアダプタ・ニッケル水素充電電池

※ニッケル水素充電電池は出荷時に本体内にセットされています。

※充電電池を入れていない場合、充電は行われません。

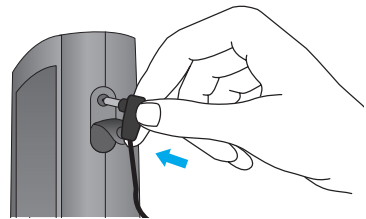
- 1** 本体上側面にある充電ACアダプタ差し込み口の保護キャップをはずします。

※充電ACアダプタ使用後は、保護キャップを必ず閉じてください。



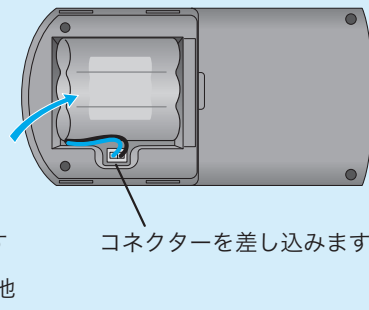
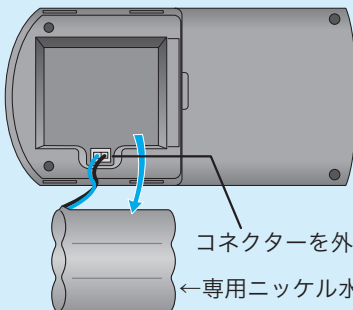
- 2** 充電ACアダプタのジャックを差し込みます。

※アダプタ(金属部分)が汚れていないことを確認してください。汚れている際にはティッシュペーパー等でふきとってください。



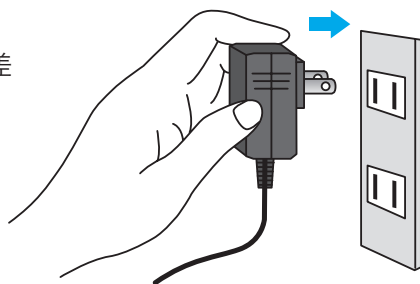
充電電池の交換方法 ※充電ACアダプタを外し、電源OFFの状態でご交換してください。

- ①本体裏のカバーを外し、充電電池を取り出します。 ②充電電池を本体に組み込みます。



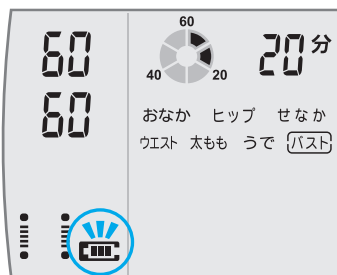
- 3** 充電ACアダプタをコンセントに差し込みます。

※充電ACアダプタで充電しながら使用することも可能です。



- 4** 充電中は充電電池表示が点滅し、充電が完了すると、点灯に変わります。

※電源がOFFの場合、充電が完了すると画面表示は全て消灯します。



- 満充電から使用していくと、充電電池表示は、3つ → 2つ → 1つ → 0 の順に減っていきます。



- 充電時間は最大で約7時間です。満充電になる前に途中で充電を止めると、充電電池の寿命が短くなる可能性があります。
- 充電電池の残量が無くなってから充電することをおすすめします。
- 充電電池は使う回数が増えるに従って、連続使用時間が短くなります。
- 充電中に本体が熱くなりますが、故障ではありません。
- 充電電池の残量が無くなると、「0:残量なし」が30秒間点灯し、画面表示は全て消灯します。
- 満充電の場合でも、使用部位や出力によって2時間前後で無くなる場合があります。
- 充電しながらでもご使用になれます。
- 使用中に充電電池マークが増えたり減ったりしますが、故障ではありません。

充電電池のご注意とリサイクルについて → P11

はじめてお使いになる前に

粘着パッドのセットと貼り付け

ここで使うもの：本体・接続コード・粘着パッド

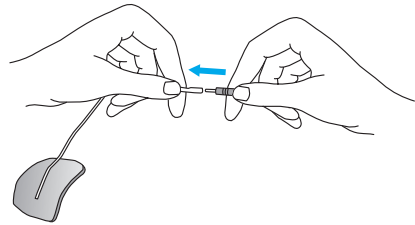
※お使いになる前に、肌に粘着パッドが合うかテストをしましょう。

- ① おなか・腕・太ももの内側など皮膚のやわらかい部分へ、粘着パッドを貼ってください。（パッドに接続コードを接続しない）
- ② 20分後、粘着パッドを貼っていた部分が赤くなったり、かゆみを引き起こした場合は、使用を中止してお買い求めの販売店または当社までお問い合わせください。敏感肌用の粘着パッドもご用意しています。
- ③ 異常がないことをご確認のうえ、ご使用ください。

粘着パッドのセット

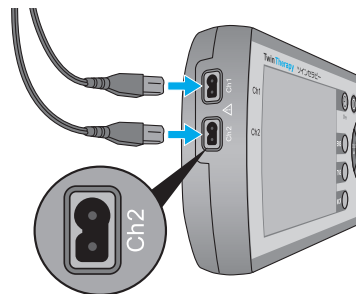
- 1** 粘着パッドに、接続コードの細い先端を差し込んでつなぎます。

※必ず金属部分が見えなくなるよう根元まで差し込んでください。



- 2** 本体側面にある出力口Ch1・Ch2に、それぞれ接続コードを差し込みます。

注) 向きが異なると入りません。良く確認したうえで、差し込んでください。
また接続コードの差込部に異物がついていたり、出力口に異物が入っていないか良く確認してから接続してください。接触不良等の故障の原因となります。



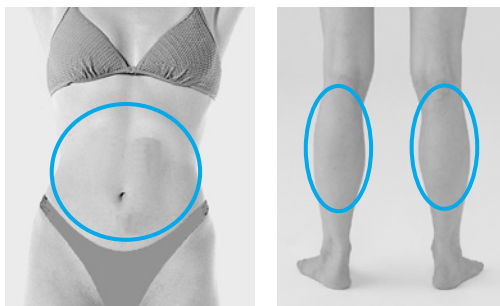
※接続コードはグレーと黒の2色ありますが、出力口Ch1・Ch2のどちらに接続してもかまいません。

※奥までしっかりと差し込んでください。

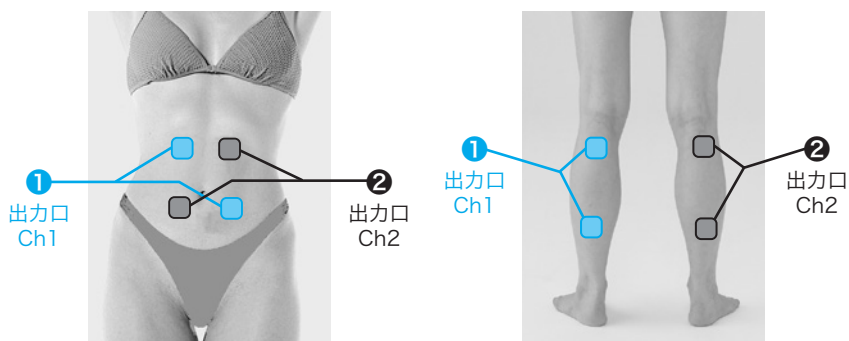
粘着パッドの貼り付け

- 1 使いたい体の部位を選び、タオルなどで汗を拭きとります。

※汗などで肌が汚れていると、粘着パッドが貼り付きにくくなります。



- 2 粘着パッドの透明フィルムをはがし、粘着面を肌に密着させて貼り付けます。(接続コードはグレーと黒の2色になっています)



各部位の貼り付け位置は、『サポートガイド』をご参照ください。

※接続コードの先の色(赤と黒)は貼り付け位置に関係しません。

※粘着パッドの貼り付け位置には個人差がありますので、自分に合わせて調節(筋肉の反応のいい、大きく動く場所)してください。

※湿布やばんそうこう等の粘着物によりかぶれやすい方は注意してご使用ください。かぶれたり赤くなったりすることがあります。

粘着パッド使用時のポイント

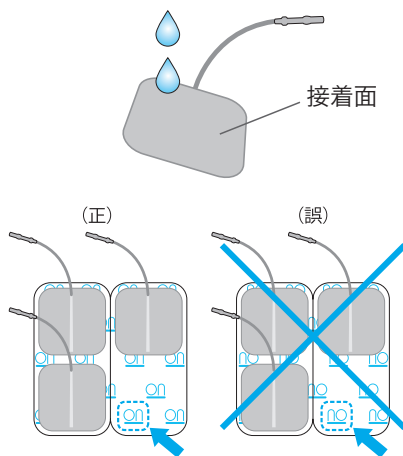
粘着パッドのサイズについて

- 粘着パッド〈M〉の特徴
腕やふくらはぎやバストなど、小さな筋肉におすすめします。
- 粘着パッド〈L〉の特徴
腹部やヒップや太ももなど、大きな筋肉が集中している部位におすすめします。粘着パッド〈M〉に比べ少ない出力で効率よく筋肉運動ができます。

※粘着パッド〈L〉をご使用の場合は粘着パッド〈M〉よりも充電池の消耗が早い
ため、充電ACアダプタで充電しながらのご使用をおすすめします。使用部位や
出力によっては2時間前後でなくなることがあります。

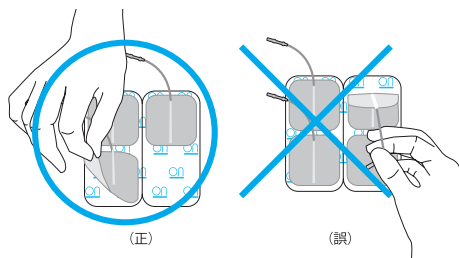
粘着パッドの保管について

- 粘着パッドは、乾燥してくると粘着力が低下します。粘着力が低下してきた場合、汚れや脂をとりのぞき、時々1～2滴の水をつけておくと長くお使いいただけます。
- 粘着パッドを保管する際には、透明フィルムの「ON」と読める面に貼ってください。「NO」と読める面に貼るとはがれにくく、粘着パッドの寿命を縮めます。
- 粘着パッドの使用後は、元の透明フィルムに戻し、袋に入れ、室温で保存してください。
- 粘着パッドの袋に使用期限が表示してあります。期限切れの粘着パッドは使用しないでください。(P15⑫参照)
- 粘着パッドは消耗品です。粘着力が低下しましたら交換してください。



粘着パッドの剥がし方

- 粘着パッドを透明フィルムや皮膚から剥がすときは、パッドの端を摘んでゆっくり持ち上げてください。接続コード部を持って剥がすようなことはしないでください。



⚠ 警告 粘着パッドについて

- 湿布やばんそうこう等の粘着物によりかぶれやすい方は、注意してご使用ください。かぶれたり、赤くなったりすることがあります。
- 傷のある皮膚には使用しないでください。
- 運動・温熱(ホットパックなど)により発汗し皮膚表面が濡れている場合は、汗を乾いたタオル等でふきとってから粘着パッドを装着してください。粘着パッドの上からホットパックなどで加温することは局所に熱が集中し火傷・炎症の可能性がありますので絶対におやめください。
- 粘着パッドを使用した際に、発疹・発赤・かゆみ等が現れたときは直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または当社にご相談ください。
- 皮膚が荒れたり、火傷・炎症等をおこした際は直ちに使用を中止してください。
- 粘着パッドを使用する時、金属物(ネックレス、ベルト、時計など)と重なったり、触れたりしないよう注意して貼ってください。また粘着パッドは互いに重ならないように貼ってください。
- 粘着パッドを貼り付ける際には、必ず皮膚に密着させてください。貼った部分に隙間があると刺激が強くなり痛みを感じ、場合によっては火傷等の皮膚障害をおこすおそれがあります。
- 皮膚にローション、オイルなど化粧品が残っている場合、または汗や皮脂で皮膚が汚れている場合は、皮膚を石鹸でよく洗い完全に乾かしてから貼り付けてください。粘着パッドの粘着力が低下し、場合によっては火傷等の皮膚障害をおこす恐れがあります。
- 使用中の粘着パッドを体の下に敷くなど、過度な力をかけますと、電流が一部分に集中し火傷・炎症の原因となりますので、絶対におやめください。
- 粘着パッドを皮膚から剥がすときは、必ず本体の電源スイッチを切ってください。
- 粘着パッドの使用後は元の透明フィルムに戻し袋に入れ、室温で保存してください。
- 粘着パッドの袋に使用期限が表示しております。期限切れの粘着パッドは使用しないでください。
- 粘着パッドは消耗品です。粘着力が低下しましたら交換してください。
- 粘着力が弱くなった粘着パッドは、皮膚との接触状態により局所に電流が集中する可能性があり、火傷・炎症の原因となるので、絶対に使用しないでください。
- 使用期限の切れたものや粘着力が低下した粘着パッドをそのまま使用したり、テープ・バンド・下着等で固定して使用しても、適切な効果が得られないばかりでなく、急激に強い刺激がかかったり、場合によっては火傷等の皮膚障害をおこすおそれがありますので、絶対にしないでください。
- 接続コードの接続部分部分が汚れていないか必ず使用前に確認してください。汚れている場合は、ぬるま湯、アルコールで湿らせた柔らかい布で汚れをふき取ってください。汚れたままで使用しますと、接触不良による電流の急激な変化で、火傷・炎症のおそれがあります。また、接続部が緩くなった粘着パッドも接触不良を起こす可能性がありますので、新しいものに交換してください。

粘着パッドの模倣品に対するご注意

安全に製品をご使用いただくために、弊社で品質管理を実施しております純正の粘着パッドをご使用くださいますようお願い申し上げます。弊社では模倣品が原因で発生した火傷事故・故障・その他の不具合等につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本件については<お客様相談室>までお問い合わせください。

<お客様相談室>TEL: 03-3994-2433 受付: 平日午前10時~午後5時30分(土・日・祝日休み)

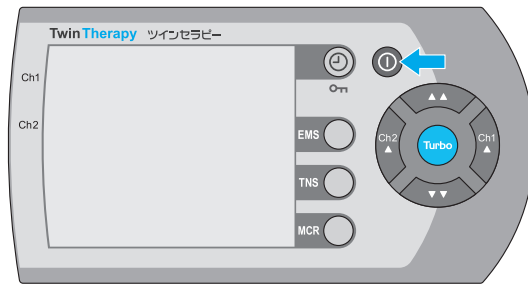
※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

ツインセラピー の使い方

粘着パッドをセットしてから、操作を行ってください。

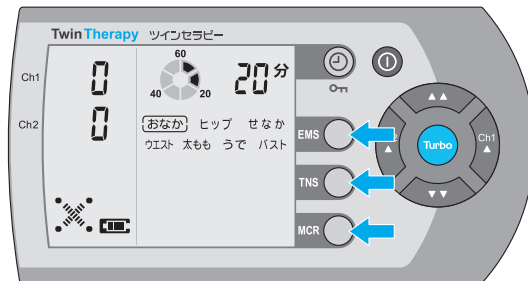
手順 1 電源スイッチを入れる

電源スイッチを押し、電源を入れます。



手順 2 モードの選択

EMS、TNS、MCR の3つの中から使いたいモードを選び、スイッチを押します。



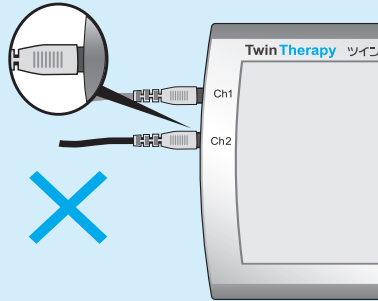
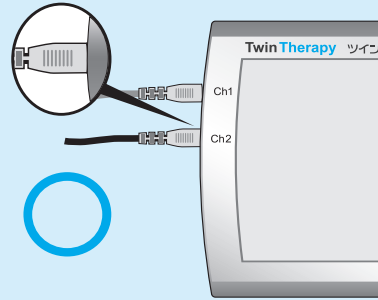
※ 2回目以降の使用の際には、前回使用した画面が表示されます。

..... 各モード共通

コードの接続に関するご注意

ご使用になる前に、接続コードが本体上にある出力口Ch1・2に、奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。

接続が不十分ですと、「エラー」が出る場合がありますので、接続コードはしっかり差し込むようにしてください。



➡ 筋肉トレーニングをしたい方

【EMS (イーエムエス)モード】 28ページへ

➡ 体全体を心地良くリラックスさせたい方

【TNS (テンズ)モード】 32ページへ

➡ スキンケアや、運動後のクールダウンをしたい方

【MCR (マイクロカレント)モード】 36ページへ

EMSモードの使い方（筋肉トレーニング）

EMSモードの特長

EMS（イーエムエス）モードは、EMS（電氣的筋肉刺激／Electrical Muscle Stimulation）を採用し、筋肉のトレーニングを目的としています。

トレーニングしたい部位に応じて〈おなか・ヒップ・せなか・ウエスト・太もも・うで・バスト〉の7つのプログラムを用意しています。

はじめに 粘着パッドをセットしてから操作を行ってください。（P22・23参照）

手順 1 プログラムの選択

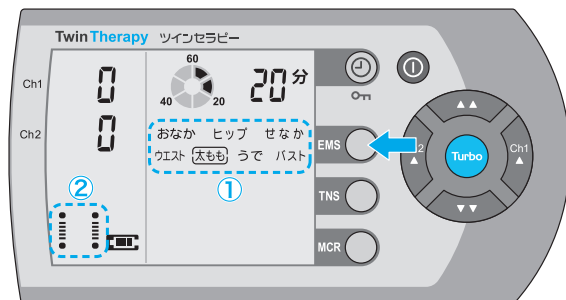
- ①EMSモードスイッチを押すたびに、7つのプログラムが下記のように移動します。スイッチを押して、使用したいプログラムを選びます。

おなか → ヒップ → せなか → ウエスト → 太もも → うで → バスト

- ②選択したモードに応じた粘着パッドの貼り付け方を、アイコンで自動で表示します。


 →おなか・ヒップ・せなか
に適した貼り付け方

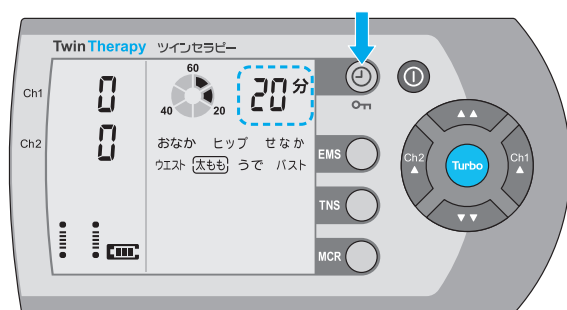

 →ウエスト・太もも・うで・バスト
に適した貼り付け方



※貼り付け位置の目安は『サポートガイド』をご参照ください。
※2回目以降の使用の際には、前回使用した画面が表示されます。

手順 2 タイマー設定

タイマー時間を変更する場合、**タイムスイッチ**を押すたびに「20分」・「40分」・「60分」と表示されるので、使いたい時間を選んでください。





- ※時間の変更は出力開始前に行ってください。出力中は変更できません。
- ※タイマー時間は選択したプログラムごとに変更が可能です。
- ※次回使用時は前回は設定したプログラムの時間が表示されます。
- ※同じ貼り付け位置への連続使用は1日2時間までとしてください。
- ※設定した時間の中で、ウォームアップ・トレーニング・クールダウンと体感が変化します。
- ※ウォームアップからトレーニングへ切り替わる際に体感が変わります。ご使用の途中でも出力は上げ下げできます。
- ※さらに、トレーニングからクールダウンへ切り替わると出力が下がり、体感が変わります。クールダウン(2分)は整理体操モードです。

タイマー(合計)	ウォームアップ	→	トレーニング	→	クールダウン
20分	2分	→	16分	→	2分
40分	2分	→	36分	→	2分
60分	2分	→	56分	→	2分

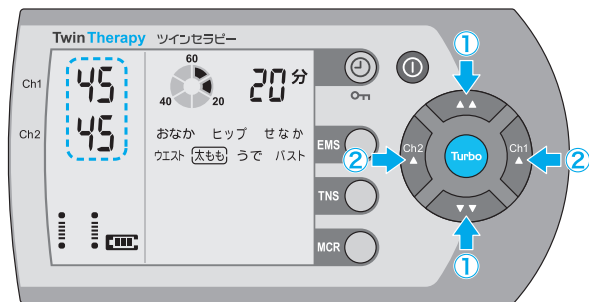
※トレーニング中は、Turbo (ターボ)機能が使えます。→P31

EMSモードの使い方（筋肉トレーニング）

手順3 出力調節

- ①出力調節スイッチの  を押すと、Ch1・Ch2出力は同時に上がります。出力表示の数値を、がまんできる範囲まで上げてください。下げる時は  を押してください。（出力Ch1・Ch2の数値は同時に上下します。出力範囲は0～80です）自動的に出力がスタートします。


※出力口Ch1・Ch2両方に接続コードが差し込まれていないと、「エラー」が表示され、出力ができない状態になります。



- ②出力1・2の数値を個々に微調整する場合は、

左右の出力調節スイッチ  を、別々に押して調節してください。

※出力Ch1・Ch2の数値を個々に下げる出力調節スイッチはありません。

※出力Ch1・Ch2のいずれかが「0」になった状態で  を押すと、もう一方の出力のみが下がります。

※各出力調節スイッチを長押しすると、数値の上げ下げが早く行えます。

手順4 終了

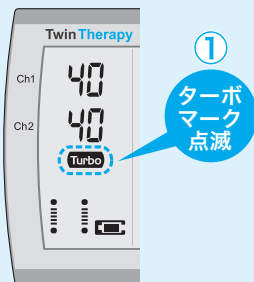
タイマー終了後、電源スイッチを長押しして電源を切り、終了してください。

※画面表示中(出力時を除く)5分以上操作を行わないと、自動的に電源が切れます。

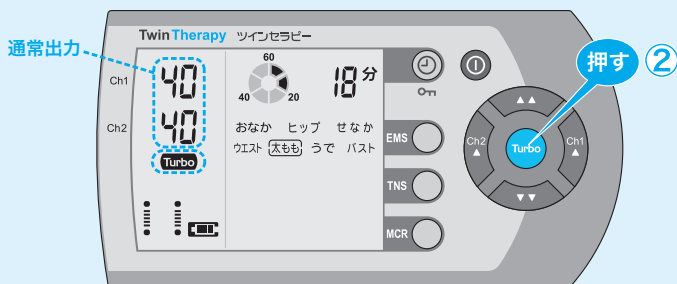
Turbo

ターボ機能とは？

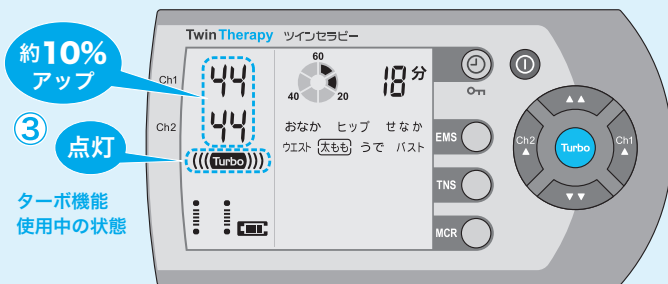
- ① EMSモード(おなか、ヒップ、せなか、ウエスト、太もも、うで、バスト)出力中、ターボ表示 **Turbo** が点滅すると、ターボ機能が使用できます。



- ② **Turbo** 点滅中に **Turbo** スイッチを押すと…



- ③ ターボ表示が点灯になり、出力が約10%アップします。



※TNS、MCRモードでは作動しません。

※ウォームアップ・クールダウン中には使用できません。

※ターボ中にも出力の変更は可能です。

※ターボ中に出力を変更した場合にも、通常出力に変更が反映されます。

※ターボを解除したい場合は、再度ターボスイッチを押してください。

※最大レベル80ではターボ機能は使用できません。

より一層のトレーニング効果が期待できます！

TNSモードの使い方 (リラックス)

TNSモードの特長

TNS (テンズ)モードは、断続中周波を使用し、運動後の体を心地良くリラックスさせることができます。

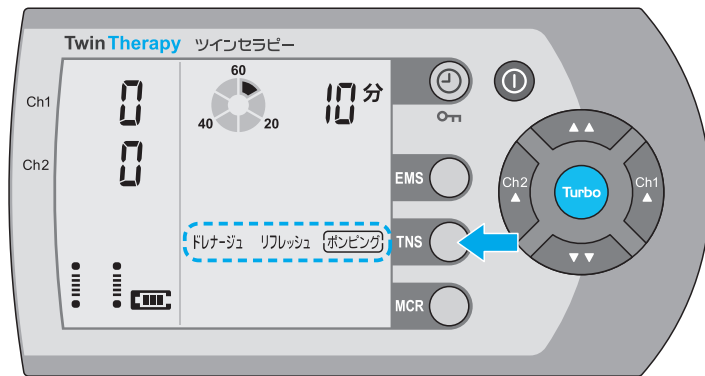
「ドレナージュ」「リフレッシュ」「ポンピング」の3つのプログラムを用意しています。

はじめに 粘着パッドをセットしてから操作を行ってください。(P22・23参照)

手順 1 プログラムの選択

TNSモードスイッチを押すと、3つのプログラムが下記のように移動します。スイッチを押して行って、使用したいプログラムを選びます。

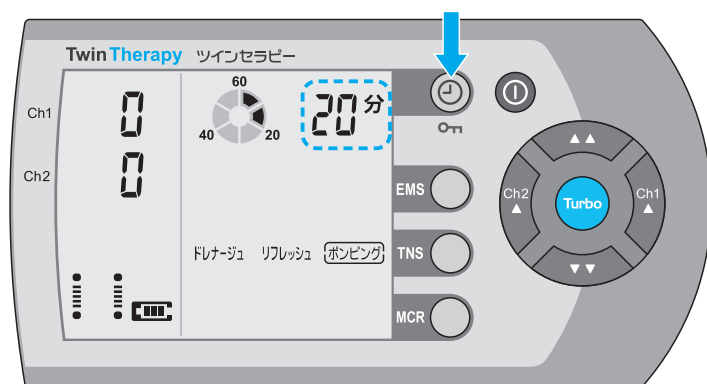
ドレナージュ → リフレッシュ → ポンピング



※2回目以降の使用の際には、前回使用した画面が表示されます。

手順2 タイマー設定

タイマー時間を変更する場合、**タイムスイッチ**を押すたびに「10分」・「20分」・「30分」と表示されるので、使いたい時間を選んでください。



- ※時間の変更は出力開始前に行ってください。出力中は変更できません。
- ※タイマー時間は選択したプログラムごとに変更が可能です。
- ※次回使用時は前回に設定したプログラムの時間が表示されます。

TNSモードの使い方 (リラックス)

◆ドレナーージュ

タイマー（合計）10分・20分・30分 刺激感が変化していきます。

◆リフレッシュ

タイマー(合計)	一定	→	変化	→	一定
10分	2分	→	6分	→	2分
20分	2分	→	16分	→	2分
30分	3分	→	24分	→	3分



◆ポンピング

タイマー(合計)	変化	→	変化	→	一定
10分	2分	→	6分	→	2分
20分	2分	→	16分	→	2分
30分	3分	→	24分	→	3分

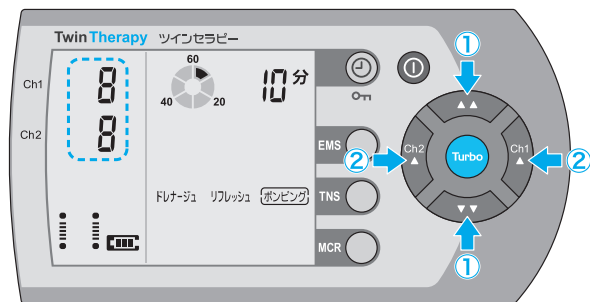
※リフレッシュ、ポンピングモードは、一定から変化へ切り替わる際に、体感が変わります。ご使用の途中で出力は上げ下げできます。

※リフレッシュ、ポンピングモードは、さらに変化から一定へ切り替わると出力が下がり、体感が変わります。

手順3 出力調節

- ①出力調節スイッチの  を押すと、Ch1・Ch2同時に出力が上がります。出力表示の数値を、心地良く感じる範囲まで上げてください。下げる時は  を押してください。（出力Ch1・Ch2の数値は同時に上下します。出力範囲は0～80です）自動的に出力がスタートします。


※出力口Ch1・Ch2両方に接続コードが差し込まれていないと、「エラー」が表示され、出力ができない状態になります。



- ②出力Ch1・Ch2の数値を個々に微調整する場合は、

左右の出力調節スイッチ   を別々に押して調節してください。

※出力Ch1・Ch2の数値を個々に下げる出力調節スイッチはありません。

※出力Ch1・Ch2のいずれかが「0」になった状態で  を押すと、もう一方の出力のみが下がります。

※各出力調節スイッチを長押しすると、数値の上げ下げが早く行えます。

※ターボ機能は、ご使用になれません。

手順4 終了

タイマー終了後、電源スイッチを長押しして電源を切り、終了してください。

※画面表示中(出力時を除く)5分以上操作を行わないと、自動的に電源が切れます。

MCRモードの使い方① (スキんケア)

MCRモードの特長

MCR (マイクロカレント) モードは、もともと人間の体にある弱い電流によく似た微弱電流を使用しています。運動後の疲れた筋肉や関節のトリートメント、お肌の気になる部分のお手入れにおすすめです。

※MCRモード使用時、「フェイス」ではマイクロローラー、「ショート」「ロング」では粘着パッドをお使いください。マイクロローラーの使い方は取扱説明書のP37～39もしくはサポートガイドのP20～21をご参照ください。

マイクロローラーについて

マイクロローラーを使って、効果的なスキんケアを行うことができます。ローラーで微弱電流をお肌に流し、皮膚組織に繰り返し刺激を与えるので、お肌のトリートメントにおすすめです。

こんな方に
オススメ

あごからほおにかけてのラインに・肌のくすみに・
おでこの周辺に・目の周辺のリフレッシュに

※目の周辺のトリートメントは注意して行ってください。

※お顔のスキんケアを行う場合は、必ず「フェイス」プログラムでご使用ください。



警告

MCRモードについて

- 使用中に故障が発見されたり、身体に異常を感じた場合は、使用を直ちに中止してください。
- スキんケアを中断する時は必ず電源を切ってください。
- MCRモードを使用中は、接続コードが外れた場合でも、出力は停止せずに電流が出力され続けます。

お手入れ前の準備

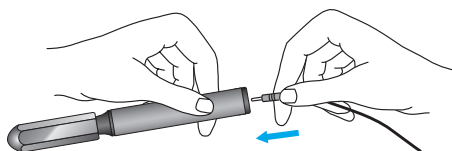
- ①きれいに洗顔し、化粧や皮脂の成分をしっかりと落としてください。
- ②ぬるま湯で洗顔し、最後に冷水でお肌を引き締めておくと、一層効果的です。



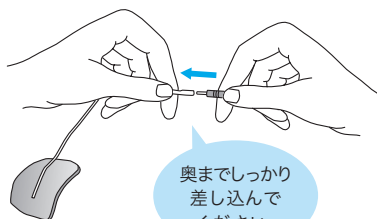
マイクロローラーは金属を使用していますので金属アレルギーの方は、使用しないでください。
マイクロローラーは防水仕様ではありません。水につけたり、ぬらさないでください。

手順 1 マイクロローラーのセット

- ①接続コードの片方を、
マイクロローラーに
差し込みます。



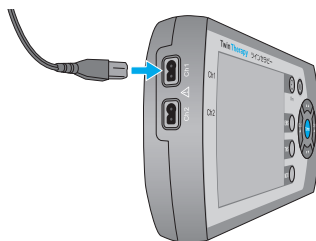
- ②接続コードのもう一方に
粘着パッドを差し込みます。



※接続コードの先端の色(赤黒)は
関係ありません。

※使用する粘着パッドは1枚です。

- ③接続コードを本体側面の出力口に
接続します。
(出力口Ch1・Ch2どちらでも構いません)



- ④粘着パッド1枚を腕にしっかりと
貼り付けてください。(P39イラストを参照ください)

- ⑤電源スイッチを押し、電源を入れます。

MCRモードの使い方① (スキンケア)

手順2 プログラム設定・タイマー設定

- ① MCRモードスイッチを押すと、3つのプログラムが下記のように移動します。スイッチを押して、**[フェイス]**を選びます。

フェイス → ショート → ロング


- ② タイマー時間を変更する場合は**タイムスイッチ**を押して、「20分」「40分」「60分」から使いたい時間を選んでください。

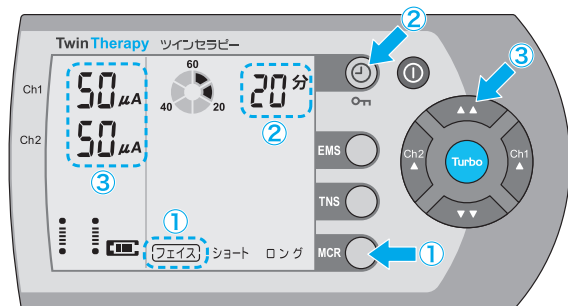
※時間の変更は出力開始前に行ってください。出力中は変更できません。

※タイマー時間は選択したプログラムごとに、変更が可能です。


※次回使用時は前回設定したプログラムの時間が反映されます。

手順3 出力調節

- ③ 出力調節スイッチの  を押すと、最大出力「50 μ A」が表示され、自動的に出力がスタートします。



※ MCRモードは微弱な電流を使用するため、体感(刺激)はほとんどありません。

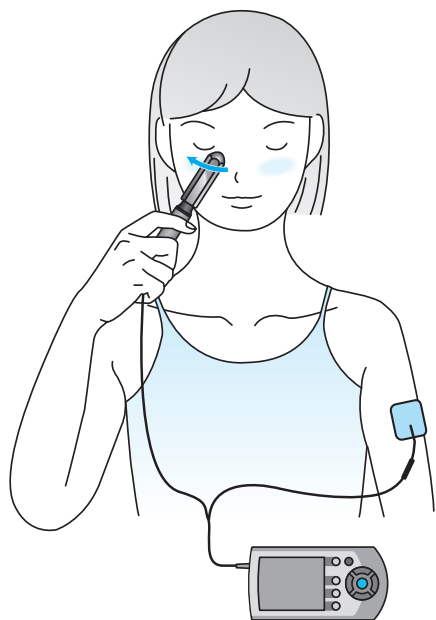
もし、ピリピリする場合には、 キーを使って、お好みの出力まで下げてください。0～50 μ Aの範囲で、5 μ Aずつ出力を変更できます。

※出力調節スイッチを長押しすると、数値の上げ下げが早く行えます。

※ターボ機能は、ご使用になれません。

手順4 スキンケアを行う

図のように顔の中心から外側に向かって、ローラー部分を軽く押し当てながら動かしてください。

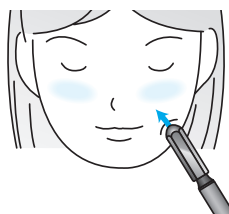


コロコロケア



ローラー面をコロコロと肌に転がすようにご使用ください。

プッシングケア



ローラーの先端をポイント部分へ軽く押し当てるようにご使用ください。

※「コロコロケア」と「プッシングケア」を組み合わせると効果的です。
詳しい使用法はサポートガイドP20～21をご参照ください。

手順5 終了

タイマー終了後、電源スイッチを長押しして電源を切り、終了してください。
※画面表示中(出力時を除く)5分以上操作を行わないと、自動的に電源が切れます。
※終了後は汗、皮脂等を拭き取り、清潔に保管してください。

MCRモードの使い方② (運動後のクールダウン)

はじめに 粘着パッドをセットしてから操作を行ってください。(P22・23参照)

手順 1 プログラム設定・タイマー設定

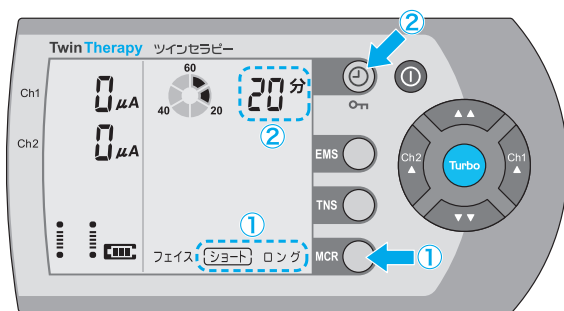
- ① MCRモードスイッチを押すと、3つのプログラムが下記のように移動します。スイッチを押して、**[ショート]**または**[ロング]**を選びます。

フェイス → ショート → ロング

※スキンケアの場合は**[フェイス]**を選びましょう。

- ② タイマー時間を変更する場合は、**タイムスイッチ**を押して、使いたい時間を選んでください。


- ・ ショート 「20分」「40分」「60分」
- ・ ロング 「60分」「120分」「180分」

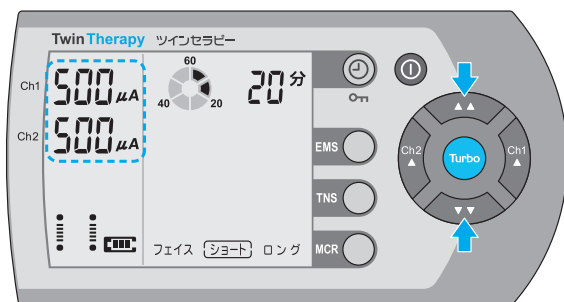


※時間の変更は出力開始前に行ってください。出力中は変更できません。

※2回目以降の使用の際には、前回使用した画面が表示されます。

手順2 出力調節

出力調節スイッチの  を押すと、Ch1・Ch2の最大出力「500 μ A」が表示され、自動的に出力がスタートします。




出力調節スイッチ  を押して自動的に出力される値

ショート 500 μ A

ロング 500 μ A \rightarrow 50 μ A (プログラムの途中で1回切り替わります。)

※ MCRモードは微弱な電流を使用するため、体感(刺激)はほとんどありません。

もし、ピリピリする場合には、 キーを使って、お好みの出力まで下げてください。0～500 μ Aの範囲で、50 μ Aずつ出力を変更できます。

※出力Ch1・Ch2の数値は同時に上下します。個々に上げたり下げたりすることはできません。

※各出力調節スイッチを長押しすると、数値の上げ下げが早く行えます。

※ターボ機能は、ご使用になれません。

手順3 終了

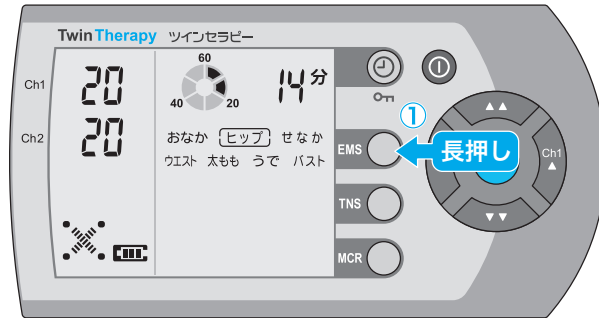
タイマー終了後、電源スイッチを長押しして電源を切り、終了してください。

※画面表示中(出力時を除く)5分以上操作を行わないと、自動的に電源が切れます。

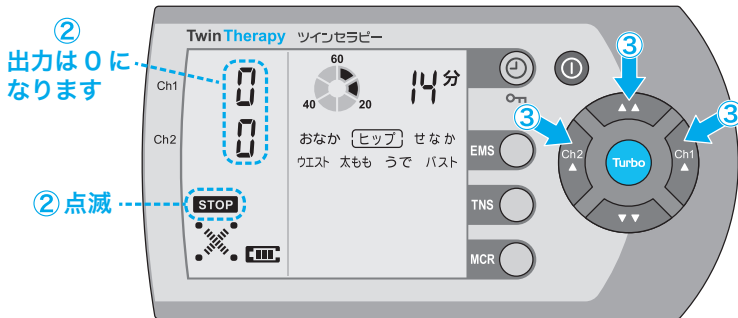
STOP 機能


使用中、来客等で、ちょっと手を離したいとき、便利な一時停止機能です。

- ①出力中に、使用中のモードスイッチを長押し(約1.5秒)します。



- ②STOP表示が点滅し、出力が一時停止します。



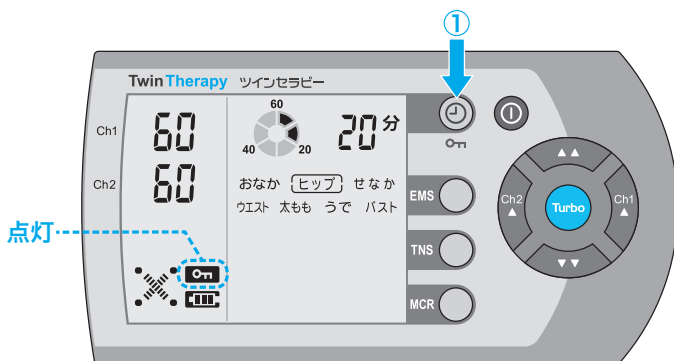
- ③出力調節スイッチのアップキーのいずれか  を押すと出力を再開します。

※ストップ状態のまま、5分以上操作を行わないと、自動的に電源が切れます。
※ストップ状態が機能している間は、電源スイッチの入切のみ作動します。

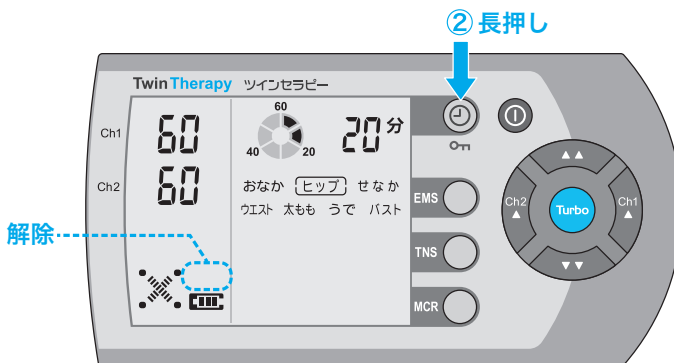
ロック機能

タイムスイッチにロック機能がついています。
誤操作を防止したい時にご使用ください。

- ①出力中に**タイムスイッチ**を押すと、全ての**スイッチ**がロックされ、**ロック表示**が点灯します。



- ②再度**タイムスイッチ**を**長押し(1.5秒)**すると、ロック機能が**解除**されます。



※ロック機能が働いている間も、電源スイッチによる電源の入切だけは作動します。



伊藤超短波株式会社

<http://www.itolator.co.jp/>

ヘルスケア事業部

東京都練馬区豊玉南3-3-3 ☎03(3994)1461 (代)

販売店